第2回湯沢市部活動協議会記録

R 5. 11. 22 (水)

1 開 会

- 2 協議会会長あいさつ
 - ・ 先日は、スポーツ協会主催の研修会が開催され、参加していただいた方々、ご苦労様でした。
 - ・その際の話では、県ではこの地域移行について、まだ明確にされていないところが あるが、本市として協議を進めていきたい。
 - ・ 高岡市、長岡市の先進事例が紹介されたが、参考にできるところは参考にしていければと思う。本日の協議もよろしくお願いします。

【委員からの発言】

- ・少子化にともない、生徒が希望する競技ができないことに地域移行の根本がある。 湯沢市として、今後、土・日曜日を地域クラブとして学校が関わらないのか、いわ ゆる学校部活動を廃止するのか、方向性が明確でないとなかなか議論が深まらない と思うがどうか。
- ・令和7年までの推進期間とすると、令和8年には完全移行ということになるので、 湯沢スタイルとして、子どもたちのことを考えると、早めに方向性を出してもらえ ればと思う。

【会長から】

- ・そのようなことも含めて、本日の協議の際に行われる「湯沢スタイル」づくりに反映してもらえればと思う。
- 3 報 告~NPO法人希楽々 (新潟県村上市) 視察について
 - ・スポーツ庁「地域スポーツクラブ活動アドバイザー」である、渡邊優子理事長から 説明を受けた。
 - ・平成 24 年に、「活動したい生徒、新設懇願の保護者、新設できない学校」の意を受けて、「新しいカタチの部活動」として歩みを始める。
 - ・学校部活動と地域の活動を合わせた「融合型部活動」とした。これは、学校が関与 する地域の活動である。
 - ・運営方針として重点としていること。①運営主体に公益性があり、ガバナンスが確
 - 立していること。②公認資格取得 の高いハードルを設定するなど 指導者の質を確保すること。③ス ポーツ少年団と連携するなどして 指導者の量を確保すること。
 - ・今年度、女子バスケットボール、 ソフトテニス、軟式野球は中体 連大会に参加した。



- ・練習に参加する際には、チケットを作成し使用させた。例えば、バスケットは1回の練習につき500円を徴収し、最大限3,000円分まで(7回以降は無料)。継続性を図るためにも受益者に負担してもらっている。
- ・今現在は「ピンチ」、しかしこれを「チャンス到来」とする。
- ・今実施しないと、3年後の子どもたちが困ることになる。
- ・保護者にいかに納得してもらうかが大事。「今できることを精一杯実施していること」を保護者や地域に伝えることが必要。
- ・どの種目が地域移行を必要としているか。移行できるところから取り組む。不公平 が生じるのは仕方がないこと。

4 協議

(1) グループ協議

「生徒を一人も残さず大会・コンクールに出場させるための環境を整えよう!!」

【ヒト】・指導者の確保をどうする?

・生徒にとって有益な人材を確保するにはどうする?

【カネ】・指導者への謝金はどうする?

・活動維持費をどうする?

【モノ】・練習会場はどうする?

・練習会場までの移動手段はどうする?

【その他の問題は何か。また、それをどうする?】

(2)各グループで協議されたことを発表する

運動部活動専門部A

- ・競技ごとのワークショップを行ったり 個別にアンケートを取ったりしながら 意識を高めたり、情報を集めたりする ことが必要ではないか。
- ・中学校の部活動は専門的になってくる ので、湯沢市としての指導者の位置づ けや基準が必要になってくるのではな いか。
- ・これからの新しい指導者の在り方を理解できる人材の確保に努める。



- ・謝金は、積算根拠を明確にすること、種目ごとに違ってくるのではないか。
- ・現在、夜間の施設開放している体育館と校舎内の音楽室とでは管理の仕方が違って くるので、管理の問題を解決しなければならない。
- ・保護者としては、スクールバスの利用を希望していると思う。
- ・地域移行にともなって、「生徒の思い、どう思っているのか」など、聞き取ること も必要でないか。種目や活動形態について選択肢があればいい。

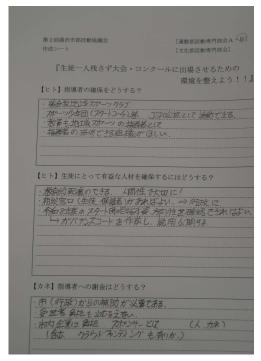
運動部活動専門部B

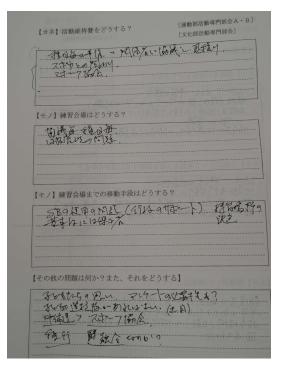
- ・運動部活動専門部Aと重複する部分は割愛する。
- 生徒がイメージできるデザインをつくること。
- ・大会参加について、中体連の出場資格が変更されると思われる。
- ・教員も地域の一員として関わるなど、人間性豊かな指導者を必要とする。
- ・問題が生じた際の相談窓口(生徒や保護者)が行政にあればいい。
- ・受益者負担も仕方ないと思われるが、市内企業にスポンサーとして協力してもらう 方法もあるのではないか。(クラウドファンディングも有るのではないか)
- スクールバスの利用はお願いしたい。
- ・ある競技について、高みを目指すクラブとそうでないクラブの2種類の選択肢を設けることができればいい。
- ・子どもたちが選択できる、土(日)曜日の活動であればいいと思う。

文化部活動専門部

- ・吹奏楽、合唱などを地域移行するに際し、 大切なことは専門のコーディネーターを 配置することである。
- ・そのコーディネーターの下で、指導者、 謝金、会場、練習時間などの調整や管理を 行うことがスムーズな運営につながる。
- ・湯沢市内だけではなく、東成瀬など市を 越えて、ともに活動できる環境をつくっ ていく必要がある。







5 閉 会